

稲敷市教育の基本理念

郷土を愛し 未来にはばたく
しなやかな人づくり

<めざす学校像>

- 明るく、活力がある学校
- 安全で楽しく、きれいな学校
- 保護者・地域から信頼される学校

<めざす児童像>

- 自ら学び、自分の考えを表現する子
- 思いやりがあり、助け合える子
- じょうぶでたくましい子

<めざす教師像>

- 一人一人の児童を大切に作る教師
- 情熱と活力をもち、指導力のある教師
- 確かな力量を身に付けた教師



桜川小学校教育目標

自ら学び 心豊かで たくましく生き抜く児童の育成
校訓 ～ かしこく やさしく たくましく ～

茨城県の教育目標

ひとりひとりの能力を開発し
豊かな人間性をつちかう
じょうぶな身体をつくり
たくましい心を養う
郷土を愛し
協力しあう心を育てる

学校経営の方針

児童と教師の笑顔あふれる信頼される学校づくり
【 笑顔と信頼 -チーム桜川小- 】

【本年度の経営の重点】

個の特性を生かし、主体的・対話的に深く学ぶ児童の育成

豊かな学びを通じた確かな学力の定着を目指して

<課題の解決>

- ※ 学力の向上
・授業力・教師力・人間力の向上 → 学校力の向上
- ※ 自己肯定感・自己有用感の向上
- ※ 特色を生かした学校づくり
- ※ 協働意欲の向上（チーム桜川小）
・学校の活性化

笑顔と信頼 柱1
確かな学力

「できた！」
「わかった！」

- 主体的・対話的で深い学びを引き出す授業改善の推進
・自分の考えを持ち、他者と協働して課題を解決する授業づくり
- ・ICT機器を活用した授業の工夫（一人1台端末の有効活用）
- ・一人一人の学びに応じた指導の個別化と学習の個性化
- ・学校図書館の有効活用
- 基礎的・基本的な学習内容の定着を図る工夫した取組
・発問・板書・ノート指導・机間指導・学習のしつけ
- ・朝自習の時間におけるくり返し学習、補充学習の充実
- 学習形態、指導体制の工夫
・ティームティーチングや習熟度別学習、少人数指導の充実
- 家庭学習の習慣化
・家庭の協力、提出ノートの指導（時間、内容、学習方法等）
- 校内研修への積極的な取組
・自発的な教育実践意欲の向上と教職員一人一人の力量育成

【数値目標】

- ・授業がわかる・楽しい 80%以上
- ・自分の考えを表現できる 80%以上
- ・家庭学習提出率 90%以上

笑顔と信頼 柱2
豊かな心

「学級が楽しい」
「学校が楽しい」

- ◎ 学級経営力の向上
・子どもの居場所づくり「安心して居られる学級」
- ・自発的、自治的な活動を中心とした学級経営の充実
- ・自己肯定感、自己有用感を高める学級経営の工夫
- ・Q-U調査による実態把握と分析に基づく学級経営の実践
- 積極的な生徒指導の推進
- 「考え議論する道徳」の積極的な推進
・児童の発達段階や特性を考慮した多様な指導法の工夫
- ・自己の生き方や考え、自覚を深める授業の工夫
- 特別活動の充実
・課題解決のために話し合い、役割を分担して協力して実践する活動
- 郷土愛を育む学習の充実
・あんば囃子、わかさぎ・ほたるの飼育・放流活動、環境学習
- 読書活動の充実
・みんなにすすめたい一冊の本推進事業への積極的な参加

【数値目標】

- ・自分からあいさつができる 90%以上
- ・QUテスト「学校生活満足群」 88%以上
- ・年間50冊以上本を読んだ児童 70%以上

笑顔と信頼 柱3
健やかな体と
安心・安全な学校

「安全な登下校」
「安心の学校生活」

- 学校体育の充実
・体育学習における創意工夫
- ・業間運動の実施と工夫
- 健康教育の充実
・飲酒、喫煙、薬物乱用防止教室及び性に関する指導の充実
- ・がん教育の推進（外部講師の活用）
- 安全教育の充実
・危機管理マニュアルの活用と定期的な改善
- ・避難訓練等による危機回避能力の育成
- ・学校ボランティアによる登下校の見守り活動
- 食に関する指導の充実
・栄養教諭による計画的な訪問指導
- ・食物アレルギーを有する児童の情報共有と事故予防
- 校内コンプライアンス研修の充実【ボトムアップ型】

【数値目標】

- ・体力テストA+B 55%以上
- ・健康教育のための外部講師の招聘 年6回以上
- ・安全教育のための外部講師の招聘 年3回以上

特別支援教育の充実

- ・個別の指導計画・個別の教育支援計画の作成と活用
- ・教育的ニーズに応じた児童へのチーム支援
- ・ユニバーサルデザインの視点からの授業づくり
- ・専門機関や外部機関との連携
- ・障害の状態や特性に応じたICT機器の活用

特色ある学校づくり（郷土への愛着）

- ・「あんば囃子」の活動による、地域文化の伝承
- ・ホタルの飼育と放流
- ・オオヒシクイの観察
- ・ワカサギの飼育と放流
- ・地域人材による読み聞かせ指導

地域と共にある学校づくり

- ・学校運営協議会との連携及び協働体制の構築
- ・学校ボランティアの活用（あんば囃子、ホタル放流、ワカサギ放流等）
- ・HP、ブログ、各種便り等での情報発信
- ・学校行事等の公開と地域行事への参加
- ・こ小中連携の推進

働き方改革

- ・週時程表の工夫による在校時間の短縮
- ・加配教員の有効活用
（教材研究や学級事務の時間確保）
- ・学校行事の効率的な実施
- ・在校時間月45時間年間360時間への意識改革
- ・在校時間前年度同月より5%削減
- ・定時退勤日（自己申告）の設定（週1以上）